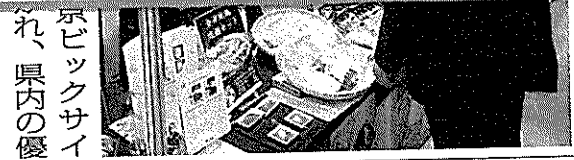


原発の再稼働
などが不透明な
め、未定とし

復旧費などに
め、八月に機
家向けの社債
一億円発行す



れた食材などを紹介し
た。
本県をはじめ、岩手、
宮城、千葉などから食
品関連の六十七社が出
展した。県内からは十
七社が地酒や麺類、食
肉などを展示し、流通
関係者らに取引を働き
掛けた。
会津若松市の会津地
鶏ネットの関沢好春常
務は「風評被害に負け
ず、福島の特産品の素
晴らしさを伝えたい」
と話し、ブランド品の
会津地鶏などをPRし
ていた。
にっぽん元気マーケ
ットは「三井食品フー
ドショー2012」の
参加イベントとして催
された。

磐梯熱海温泉旅館協組

郡山農業青年会議所

地元農産物活用にタッグ



郡山市の磐梯熱海温
泉旅館協同組合と郡山
農業青年会議所は風評
被害の払拭(ふっしょ
く)へ向けた「ふくしま
食の未来プロジェクト」を
スタートさせた。
温泉旅館で地元農産物
旅館での地産地消の
取り組みはこれまで、
取り組みはこれまで、
コストなどの問題から
十分に浸透していなか
った。本県の農産物の
安全性のアピールと新
しいメニュー開発で地
元食材の魅力を高めな
がら、食を通して本県
への風評を吹き飛ばす
のが狙いだ。
無認可農薬使用問題
の際に山形県の風評被
害払拭に尽力した鶴岡
市のレストランシェフ

を継続的に活用する仕
組みをつくる。二十七
日、第一回勉強会を開
いた。
奥田政行さんがアド
バイザーを務める。勉
強会は毎月一回を予定
し、旬の地元食材への
知識を深めながら料
理開発を進める。十一
月にはシンポジウムを
開催し、成果を発表す
る。
初回は旅館経営者ら
十人が市内田村町にあ
る会議所会員の農場を
視察し、トマトや枝豆
などの生産状況を学ん
だ。
東北経済産業局は二
十七日、ものづくり基
盤支那の開発を支援す

休日「定期+100円」で乗車可

は「小型車は世
成24)年456
元上高490億
(前期比7・
経常利益42億4
(同14・3%
純利益24億33
14・3%減)

出品やトレーニ
など震災後、需
高利益の商品
落ちつき、一
で利益率が低
プの販売が増
などが要因。

食の風評払拭へ
郡山で勉強会スタート



柳沼農場を訪れトマトや枝豆の栽培
状況を視察する奥田さんら

食を通じた風評被害払
拭に向けて、郡山市の磐
梯熱海温泉旅館協同組合と
郡山農業青年会議所の「ふ
くしま食の未来プロシエク
ト」が27日、始動した。毎
月野菜に関する勉強会を開

き、地産地消の仕組みづく
りなどを検討、旬の野菜を
使った料理開発にも取り組
む。また、11月には同温泉
でシンポジウムを実施す
る。
生産者と消費する旅館が
手を組み、旅館で、顔が見
える食材を客に提供する
ことで本県の食の安全性と
魅力をアピールすることが
狙い。プロジェクトには、
約10年前に農家の無認可農
薬使用問題で風評被害に見
舞われた山形県で地元食材
を使った料理を提供し、風
評被害払拭に尽力したレス
トラン「アル・ケッチナー

争力を保つには多額の設備
投資が必要で、富士通の経
営は1億5700万円の赤字
(前年同期は2億4千万円)

上高は市場予想を上回った
ものの、成長が鈍化してい
き、地産地消の仕組みづく
りなどを検討、旬の野菜を
使った料理開発にも取り組
む。また、11月には同温泉
でシンポジウムを実施す
る。

収入は伸びたが、全体の売
上高は減速した。

ノの奥田政行オーナーシ
ェフがアドバイザーとして
参加する。
メンバーは同日、郡山
市田村町の柳沼農場を訪
れ、栽培されるトマトや枝
豆畑などを視察。また、同
農業青年会議所が持ち込ん
だ野菜で素材勉強会を開
き、種類によって異なる野
菜の味などに理解を深め
た。

経 済

所の計画を進
後は新会社で
万キロ以上の

得られた利益の一部は発電
所が建設された地域に還
元、立地自治体が行う環境

太陽光発電に理解
郡山で東邦銀セミナー

電や風力発電への関心が高
まっていることから実施し
た。

韓国籍SBJ銀と
東邦銀が業務提携
顧客企業の販路拡大支援
東邦銀行は27日、新韓銀
行(韓国・ソウル)の日本
法人であるSBJ銀行(東
京)と業務提携の覚書を締
結したと発表した。海外の
業